

牛道春秋

駐在妻の欄

▼5月上旬、田植えの手伝いのため武儀町の実家に帰省しました▼私は両親から働かざる者食うべからず。の精神で育てられてきたので、物心がついた頃からずっと、姉2人と共に田植えや稲刈りの手伝いをしてきました▼しかし今年はコロナの影響で県外に住む姉夫婦が手伝いに来られなかつたので、代役として長男を頭数に入れることにしました。▼しかし、生き物が大好きな長男は蛙を捕まえることに夢中になり全く役に立ちませんでした▼顔中を泥だらけにして一心不乱に頑張り、虫カゴが蛙だらけになったころ、長男は一匹の水カマキリを見つけました▼すると長男はあれほど懸命に捕まえていた蛙をあっさりと全部逃がしてしまいました▼そして水カマキリ一匹だけを虫カゴに入れ、意気揚々と白鳥町に帰って来ました▼私としては、カゴいっぱいばいの蛙を見てゲンナリしていたので良かったのですが、興味のある物にあっさりと乗り換える長男の姿に一抹の不安を感じました▼水カマキリは、カブトムシ、クワガタ、ザリガニ、メダカ、タニシに続いて我が家の一員となりましたが、餌の確保が難しいというところで、すぐに解放されました▼長男は、なかなか泥棒を捕まえて来ない父親に代わって、今日も新しい何かを捕まえようと駐在所から眼を光らせています。



長男(小二)